

室長に着任してから  
しばらくして作成した  
分担表です。

I 個別業務	野中	御田	大浅田	横田	日南川	吉澤	島村	名倉	中川	片野 小林正	耐震室外	備考
(1)相崎耐震安全性評価 (安全委員会対応、クロスチェック、地元説明を含む)	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○		安全委員会対応 室長 地域の会 御田 県技術委員会対応 室長、御田 KK連絡会、KK打合会対応 大浅田
	○	◎	○	○	○	○	○	◎	○	○		浜岡 志賀 福島第一・第二 伊方 泊 東北東通 女川 東海第二 玄海 川内 敦賀 もんじゅ 美浜 大飯 高浜 島根 東電東通 敦賀3/4 上関 断層問題、中越沖地震 知見反映、安全委員会 ツケ対応 工認(建築関係)
(2)耐震バックチェック (安全委員会対応、クロスチェック、地元説明を含む)			○					◎		○	児玉(構造関係) 先久 児玉(構造関係) 先久 児玉(構造関係) 先久 児玉(構造関係) 先久 竹内◎ 松下(構造関係) 原山◎、新製炉 規制室(構造関係) 松下(構造関係) 松下(構造関係) 松下(構造関係) 松下(構造関係)	浜岡1号2号のバックチェックについて、廃止措置との関係(廃規課との協調)については大浅田がメイン。 地質・地震の審査は、核管課、サイクル課と協力 地質・地震の審査は、サイクル課と協力 若狭地区の地質・地震の審査については、新製炉規制室と共同。
(3)新規設置許可	◎								○			
(4)大間	◎							◎				
(5)保安院直轄海上音波探査												必要に応じて、各サイトの担当者も協力
II 共通業務												
(1)Sクラス機器関係の変更許可申請記載要領		○	◎									東電、中電、九電等々が申請(予定)、電事連へ検討依頼済み。審査班と共同。 中間報告に対する評価終了後、最終とりまとめまでに検討。 JNES及び安全委員会において検討中。 観測要領作成 審査要領作成 耐震バックチェック終了後、事業者から提出されるものを精査。
	①地震動評価のルール化 ②震源を特定せず策定する地震動 ③建物・構築物及び機器・配管系の地震観測 ④海上音波探査に係る断層評価に必要な審査要件 ⑤地震PSA評価結果精査 JNES業務フォロー、事業者への指示・管理、委員会の運営 具体的な新知見対応(JNESとともに対応)手引き関係	○	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○
(2)中越沖地震知見・バックチェック等を踏まえた共通課題											反町	
(3)新知見対応	△	△	○	◎	△	△	△	△	△	○	○	
(4)原子力安全委員会各種委員会対応(除く相崎及びバックチェック)	○	○	◎					○				本年度は、「震源特定せず策定する地震動」。適宜、室内で情報共有。
(5)調査研究事業(JNES事業フォロー)	◎								○	○		
(6)学協会活動のフォロー		○	◎		○			○				伊方、相崎のクロスチェックを活用。 耐震情報連絡会、耐震打合せ 対応 慎重派対応 耐震室内とりまとめ
(7)その他			◎					○		○		